

かけはし

黄の1組
～ダイナミックワールド号～



Central Idea

素材にはそれぞれ特性があり
人はそれを活用する

「秋のダイナミックワールド」において、黄の1組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

1 学期の「生き物探究」をきっかけに、自分たちの誕生や成長について考えた子どもたち。運動会では、それをフープ(輪)を使って表現することに挑戦しました。子どもたちのなかでは運動会後も“赤ちゃん”や“輪”への興味が続き、いろいろな遊びに広がっていきました。毎日のようにラップの芯、お菓子の空き箱、ゼリーカップなど、好きな素材を組み合わせて遊びに必要なものをつくっています。様々な素材に触れるなかで、素材にはそれぞれ特性があることに気づき、自分たちの遊びに必要なものは、何を使ってつくったらいいのか探究中です。以下は、10月30日現在の遊びの様子です。これから、どう遊びが発展していくか、「ダイナミック参加」をお楽しみになさってください。

☆☆ 黄の1組を赤ちゃんのいる保育園にしたいという声をきっかけに始まった遊びが展開されています ☆☆

★ 離乳食づくり ★

赤ちゃんの人形に「ご飯をあげたい」という声から生まれた遊び。



「赤ちゃんを保育園に預けたら安心だね」という意見から、身近な素材を使った保育園が登場！



赤ちゃんのためのミルクは、ペットボトルに水を入れ、白く見えるようにと、白い紙を入れました。



細かくしてトロトロになって離乳食みたいだね

紙は水につけると、柔らかくなることを発見！新聞紙や色画用紙を水にひたし、すりつぶしていくと…。

★ 誕生日ケーキの輪投げ ★

運動会の演技で誕生をお祝いするろうそくを表現し、発砲スチロールのケーキをつくったことから生まれた遊び。



発砲スチロールをケーキに見立て輪投げの土台をつくりましたが、壊れてしまい…段ボールで再挑戦！



新聞紙を折ってねじると硬くなるね

モール、画用紙、段ボール、新聞紙…。どんな素材の輪が投げやすいのか、試行錯誤していました。



フルーツもあつたらいいね

ケーキにクリームものせたいと、白くて柔らかい素材を集め、デコレーションもしました。

★ 輪積み ★

自分たちの身近にある輪を探したり、実際に輪をつくったりしたことから生まれた遊び。



輪をたくさんつくろう！

色画用紙でたくさんの輪をつくり始めた子どもたち。すると、その輪を積み楽しむ姿も。



赤ちゃんは、動物とか果物が好きそうだね

大きい輪でも挑戦したいと、段ボールで輪をつくることに。赤ちゃんが喜ぶようにと、絵を描きました。



時間を決めてしたら楽しいかな？

どんなふうに通ったら、みんなで楽しく遊べるのか考え中です。

★ すべり台 ★

「保育園にすべり台をつくってあげたい」という声から生まれた遊び。



斜めにしたお菓子の空き箱の上を赤ちゃんがすべると、「すべり台みたい！」と子どもたち。輪も転がしていました。



すべり台でも転がしたらおもしろそう！

その時、色画用紙の輪を十字に組み合わせボールにし、床を転がすことを楽しむ姿も。



もっと斜めになるように牛乳パックを土台にしよう

赤ちゃんのすべり台と、輪を転がす遊びが合体して新たな遊びが生まれました。

★ 輪サッカー ★

ペットボトルを切ると輪になることを発見したことから生まれた遊び。



ペンで塗ると手に色がついちゃう…

内側に塗って新聞紙を詰めよう

残りの部分は、サッカーの時に使うコーンやマーカーに似ているという声。透明では見えにくいと、色をつけることに。



ペットボトルはつつつるして、床をすべりやすいことをみんなで共有しました。



画用紙も切ったらギザギザになるよ

すずらんテープは裂けるよ

サッカー場には芝生が必要！と、様々な緑色の素材を芝生に見えるように工夫していきました。